

## 令和6年度「第3次青森県子ども・若者育成支援推進計画」関連事業一覧

### 【基本目標Ⅰ】 子ども・若者のたくましく健やかな成長に向けた支援

#### 重点目標2 社会的・職業的自立に必要な能力を育成します

No.	R6部局名	R6課名	事業名	重点目標項目				重点枠事業	新規継続	R5予算額(千円)	R6予算額(千円)	令和5年度の取組状況	令和6年度の主な事業内容	施策の方向性等
				2	3	4								
1	総合政策部	DX推進課	IT政策推進事業(ユビキタス出前授業)(~R4年度 新産業創造課)	2					終了	993	-	平川市立平賀東小学校 6年生を対象とし最先端のデジタル技術を体験してもらう出前授業を開催した。 (参加児童28名)	-	1②
2	こども家庭部	若者定着還流促進課	ジョブカフェあおもり推進・運営事業 【重点目標3、4に再掲】	2	3	4			継続	94,100	94,100	15歳から45歳未満の若年者の就職活動を支援するため、仕事に関する相談や情報収集、各種セミナー等を実施した。  来館者:14,180人、就職者:2,214人	15歳から45歳未満の若年者の就職活動を支援するため、仕事に関する相談や情報収集、各種セミナー等を実施する。	3③
3	こども家庭部	若者定着還流促進課	若年者の県内定着促進事業	2				重点枠事業	終了	17,052	-	県立工業高校及びその他高校で県内企業PRイベント等を開催し、262社の企業及び1,527名の生徒が参加した。 夏休み期間中に親子企業見学バスツアーを開催し、89名(うち子ども49名)が参加し、県内8社を見学した。 若年女性向けに、県内の大学及び高校、県外のイベントに「あおもり女子就活・定着サポーター」(あおもりなでこ)を派遣し、大学生等への講話や意見交換を行い、計395名の学生が参加した。	-	3①③
4	こども家庭部	県民活躍推進課	職業・ボランティア・文化等の体験活動の推進事業(特色教育支援経費補助)	2					継続	4,420	3,120	キャリア・職業教育の推進のため、資格取得の支援や多様な職業体験に要する経費について、2法人2校に対して補助金を交付した。	キャリア・職業教育の推進のため、資格取得の支援や多様な職業体験に要する経費に対し、補助金を交付する。	2①②、3①
5	こども家庭部	県民活躍推進課	青少年行政基礎調査事業 【重点目標1に再掲】	1	2				継続	322	1,138	本県の青少年の現状と課題を明らかにするとともに、関係行政機関における青少年に関する諸施策を取りまとめ、次代を担う青少年の健全育成に資するため、青森県子ども・若者白書を作成・配付した。	県内の小学生・中学生・高校生を対象に、青少年の意識や行動の現状等を調査し、報告書(「青少年の意識に関する調査」)を作成・配付する。	1①②、3①
6	交通・地域社会部	地域交通・連携課	「夢のカタチ」形成事業 【重点目標1に再掲】	1	2				継続	5,312	5,271	高校生が明確な職業意識を持つきっかけとするため、県内の先輩社会人を講師とする「先輩から後輩への夢相伝講座」を県内の高等学校6校で開催した。 (参加生徒数1,009名) 中学生を対象に、発想力と創造力を磨く「未来ひらめき創造塾」を3泊4日で開催し、39名が参加した。 福岡県で開催された「日本の次世代リーダー養成塾」に本県の高校生15名が参加した。	引き続き、「先輩から後輩への夢相伝講座」を県内の高等学校(9校)で開催する。 引き続き、中学生を対象に、発想力と創造力を磨くサマーセミナー「未来ひらめき創造塾」(47名参加予定)を開催する。 「日本の次世代リーダー養成塾」への本県高校生の派遣(12名)を継続する。	1②、2①
7	交通・地域社会部	地域生活文化課	消費者教育事業(消費生活センター委託事業) 【重点目標2に再掲】	2	14				継続	1,271	1,271	市町村、社会福祉協議会、学校、消費者グループ等からの依頼により、講師として消費生活相談員等を派遣して消費生活に関する講座を74回実施した。 (3,327名参加)	市町村、社会福祉協議会、学校、消費者グループ等からの依頼により、講師として消費生活相談員等を派遣し、消費生活に関する講座を開催する。	2②

No.	R6部局名	R6課名	事業名	重点目標項目				重点枠事業	新規継続	R5予算額(千円)	R6予算額(千円)	令和5年度の実績状況	令和6年度の主な事業内容	施策の方向性等
8	交通・地域社会部	地域生活文化課	学校における消費者教育推進事業（消費者行政推進事業） 【重点目標2に再掲】	2	14				終了	2,825	-	県内7大学と連携し、学生自身による消費者教育活動への主体的取組を支援するとともに、学生による消費生活フェスタを開催した。 高等学校の教員等で構成する検討委員会を計5回開催し、関係教科における実践事例等を検討・作成して県内各高等学校へ周知するとともに、弁護士及び司法書士を講師としたモデル授業を3回実施した。 特別支援学校教員、支援団体等で構成する検討会議を2回開催し、障がい種や発達段階に応じた効果的な指導について検討するとともに各学校での実施状況を共有した。 中学校の教職員を対象に、県内2地区（中南地区、下北地区）において消費者教育研修会を開催した。	-	2①
9	交通・地域社会部	地域生活文化課	高校生ファッションチャレンジ事業	2					継続	11,052	11,052	ファッション文化の振興を通じた人財育成、産業振興及び地域活性化を図ることを目的として例年開催している全国高等学校ファッションデザイン選手権大会（ファッション甲子園）は、オンライン及び有観客（700人）で開催した。	ファッション文化の振興を通じた人財育成、産業振興及び地域活性化を図るため、有観客による実施と併せ、Youtubeからのライブ配信を継続するなど、今の時代に合わせた発信を取り入れ、第23回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会（ファッション甲子園）の開催を支援する。	1④、2① ②、3②
10	交通・地域社会部	地域生活文化課	芸術文化出前教室開催事業	2					継続	898	898	芸術文化の鑑賞機会の充実、担い手の育成を図るため、県民文化祭に参加する15分野の芸術文化団体を学校や児童館などに派遣し、出前教室を実施した。（7分野、10か所）	芸術文化の鑑賞機会の充実、担い手の育成を図るため、県民文化祭に参加する14分野の芸術文化団体を学校や児童館などに派遣し、出前教室を実施する。	1④、2②
11	交通・地域社会部	地域生活文化課	青森県民文化祭開催事業	2					継続	9,310	9,310	芸術文化活動の発表と鑑賞の場として、東青下北地域において青森県民文化祭を開催した。分野別フェスティバルは8～12月の期間中に15分野のうち14分野を実施した。（参加者7,513名）	芸術文化活動の発表と鑑賞の場として、西北五地域において青森県民文化祭を開催する。	2②
12	環境エネルギー部	環境政策課	あおもり環境人財育成推進事業 【重点目標12に再掲】	2	12			重点枠事業	終了	14,806	-	・県内3大学を拠点として、SDGsの考え方や将来の脱炭素社会の視点を有する若手環境人財の育成を推進するため、講義や現地調査、高校との連携授業等を実施した。 ・環境活動以外の実践団体3団体が、現在行っている活動に「環境配慮行動」や「SDGs」の視点をプラスしたモデル事業を実施した。	-	1③
13	環境エネルギー部	環境政策課	環境教育推進事業 【重点目標12に再掲】	2	12				継続	2,067	2,087	県内小学校41校で環境出前講座を104回開催し、2,803名の児童が環境に配慮した行動の実践方法等について環境教育プログラム（ゲーム形式）により学習した。	小学校向け環境教育プログラムを活用した、環境教育専門員と地域のNPOとの協働による環境出前講座を開催する。 こどもエコクラブの活動を支援するため、こどもエコクラブのサポーター及びコーディネーターを対象とした研修会や随時の情報提供を行う。	1③
14	環境エネルギー部	自然保護課	県立自然ふれあいセンター管理運営事業（指定管理）	2					継続	29,064	28,617	自然保護思想の普及を図るため、自然観察会、講習会、発表会等の各種行事を開催した。（33回開催）	自然保護思想の普及を図るため、自然観察会、講習会、発表会等の各種行事を開催する。	1③、2②
15	環境エネルギー部	自然保護課	白神山地ビジターセンター管理運営事業（指定管理）	2					継続	75,811	75,699	自然保護思想の普及を図るため、自然体験事業（白神トレッキング10回）、文化継承事業（ネイチャースクール2回、ネイチャークラフト4回、写真展等9回）を実施した。	自然保護思想の普及を図るため、自然体験事業、文化継承事業を実施する。	1③、2②

No.	R6部局名	R6課名	事業名	重点目標項目				重点枠事業	新規継続	R5予算額(千円)	R6予算額(千円)	令和5年度の取組状況	令和6年度の主な事業内容	施策の方向性等
16	健康医療福祉部	医療業務課	地域医療を担う人材育成事業	2					継続	2,739	4,429	<p>早期から地域医療を志す医師の育成・確保を進めるため、中高生、医学生、研修医等の各ステージに応じた医師確保対策を実施した。</p> <p>(1) 未来のあおもりを担う医療人財早期育成事業</p> <p>① ドクタートーク</p> <p>② 医療チュートリアル体験</p> <p>③ 外科手術体験セミナー</p> <p>(2) 医学生・研修医の青森県内研修支援事業・へき地医療実習</p>	<p>今年度においても、早期から地域医療を志す医師の育成・確保を進めるため、中高生、医学生、研修医等の各ステージに応じた医師確保対策を展開していく。</p> <p>(1) 未来のあおもりを担う医療人財早期育成事業</p> <p>① ドクタートーク</p> <p>② 医療チュートリアル体験</p> <p>③ 外科手術体験セミナー</p> <p>(2) 医学生・研修医の青森県内研修支援事業・へき地医療実習</p>	3①②
17	健康医療福祉部	医療業務課	医師臨床研修魅力発信・研修環境支援事業	2					継続	20,499	20,499	<p>臨床研修病院等との関係機関と協力し、臨床研修の魅力を発信し、臨床研修医の確保に取り組みとともに、研修環境の質の向上を図り、若手医師の育成・定着に取り組んだ。</p>	<p>今年度においても、臨床研修病院等との関係機関と協力し、臨床研修の魅力を発信し、臨床研修医の確保に取り組みとともに、研修環境の質の向上を図り、若手医師の育成・定着に取り組む。</p> <p>① 合同説明会</p> <p>② 臨床研修医ワークショップ</p>	3①②③
18	経済産業部	産業イノベーション推進課	未来を築く創造性豊かな産業人材育成事業	2					継続	6,034	6,169	<p>子どもの創造性を育成する発明クラブ等の地域団体への活動費の一部を助成するとともに、会員増や地域企業との連携等による自立化に向けた取組に対し助成した。</p> <p>また、子どもたちの科学的探究心や創造力の開発・育成のため、「発明くふう展」と「科学の夢絵画展」を開催し、それぞれ108名、345名の応募があった。</p> <p>本県の子どもたちのものづくりや科学に対する興味・関心を引き出すため、企業・団体等との連携による「ものづくり・科学体験フェア」(サイエンス体験フェア)を開催し、149名が参加した。</p>	<p>子どもの創造性を育成する発明クラブ等の地域団体への活動費の一部を助成するとともに、会員増や地域企業との連携等による自立化に向けた取組に対し助成する。</p> <p>また、子どもたちの科学的探究心や創造力の開発・育成のため、「発明くふう展」と「科学の夢絵画展」を開催する。</p> <p>その他、本県の子どもたちのものづくりや科学に対する興味・関心を引き出すため、企業・団体等との連携により「ものづくり・科学体験フェア」を開催する。</p>	1④
19	経済産業部	産業イノベーション推進課	離職者等再就職訓練事業	2					継続	611,773	658,072	<p>民間教育機関等に委託し、70コース、受講者737名で職業訓練を実施した。</p> <p>令和6年6月末現在、修了者532名、就職率76.5%。</p>	<p>引き続き、民間教育機関等を活用して、委託により多様な職業訓練(委託訓練)を機動的に実施することとし、令和6年度は、85コース、1,285名定員で訓練を計画している。</p>	3②
20	経済産業部	産業イノベーション推進課	訓練校事業	2					継続	41,491	43,609	<p>普通課程の職業訓練を実施し、令和5年度の修了者数87名、就職者数86名であった。</p> <p>令和6年度の入校者は84名であった。</p>	<p>県立職業能力開発校において、高卒者等に対し職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得するための職業訓練を実施し、県の産業界を担う技能者育成に取り組む。</p>	3②
21	経済産業部	産業イノベーション推進課	未来ものづくり人材確保・育成事業	2					継続	1,741	1,727	<p>①第18回若年者ものづくり競技大会に、7名が参加した。</p> <p>②高校生に県立職業能力開発校に対する理解を深めてもらうため、高校生対象の進学情報誌に学校紹介ページを掲載するとともに、進路ガイダンス及び会場ガイダンスにおいて県立職業能力開発校の案内等を高校生へ直接配布する機会を設けた。</p>	<p>技術者育成段階で更に技能水準を高め、より技能レベルの高い人材を社会に供給していくため、技能競技全国大会への参加支援やものづくりへの理解促進活動により、若年者の技能向上、社会全体の技能尊重気運の醸成を図る。</p> <p>また、県立職業能力開発校の業務内容や役割及び魅力についての情報発信を強化するとともに、総務学事課主催の進学相談フェアに県立職業能力開発校のブースを確保し周知を図る。</p>	3①②
22	農林水産部	農林水産政策課	食と生活を支える水循環システム保全活動促進事業	2				重点枠事業	終了	5,968	-	<p>健全な水循環システムを守る次世代の育成のため、小学生を対象とした校外学習会(10回)を実施したほか、水循環システムの理解を深める校外学習発表会を実施した。</p>	-	1③

No.	R6部局名	R6課名	事業名	重点目標項目			重点枠事業	新規継続	R5予算額(千円)	R6予算額(千円)	令和5年度の取組状況	令和6年度の主な事業内容	施策の方向性等
23	農林水産部	農林水産政策課	女性起業課題解決・活躍促進事業	2				継続	3,192	2,967	農山漁村女性起業家の活躍促進を図るため、実態や課題を把握するための調査を行い、基礎講座(7回)と課題解決のためのステップアップ講座(2回)を開催した。また、起業活動の経費を3件に補助した。	農山漁村女性起業家の活躍促進を図るため、実態や課題を把握するための調査を行い、基礎講座と課題解決のためのステップアップ講座を開催する。また、起業活動の経費を補助する。	3②
24	農林水産部	農林水産政策課	山・川・海をつなぐ健全な水循環の確保推進事業	2				新規	-	3,300	-	健全な水循環を保全する重要性を次世代に継承するため、県内の小学校を対象とした校外学習会を開催する。	1③
25	農林水産部	構造政策課	新規就農者育成総合対策・農業人材力強化総合支援事業(農業次世代人材投資事業)	2				継続	978,616	841,283	農業への人財の一層の呼び込みと定着を図るため、新たに農業経営を開始する者及び就農のための研修を受ける者に対して資金を交付するほか、就農初期の機械・施設等の導入に対する補助を行い、就農及び就農後の早期定着・経営安定化を支援した。	農業への人財の一層の呼び込みと定着を図るため、新たに農業経営を開始する者及び就農のための研修を受ける者に対して資金を交付するほか、就農初期の機械・施設等の導入に対する補助を行い、就農及び就農後の早期定着・経営安定化を支援する。	3②③
26	農林水産部	構造政策課	新規就農定着推進事業【重点目標13に再掲】	2	13			継続	5,635	5,783	新規就農者や青年農業者を対象とした専門研修や集合研修を実施したほか、農村青少年クラブの活動を支援した。また、関係機関と連携した新規就農相談及び各種就農支援を実施した。	新規就農者や青年農業者を対象とした専門研修や集合研修を実施する。また、農村青少年クラブの活動を支援することにより、地域活動をけん引するリーダーとしての資質向上やクラブ員間の交流を図る。新規就農ガイドブックの作成、配布や関係機関と連携した新規就農相談及び各種就農支援を実施する。	2②、3①
27	農林水産部	構造政策課	あおもり新農業人サポート事業【重点目標13に再掲】	2	13		重点枠事業	継続	22,715	14,550	新規就農者の確保・育成を図るため、本県独自のオンライン就農フェアの開催や高校生を対象とした就農PRフェア、出前授業の開催のほか、非農家出身者の定着支援に取り組むとともに、本県農業の将来を担うリーダーを育成する若手農業トップランナー塾にレベルアップコースを新設し、研修内容を強化した。	新規就農者の確保・定着を図るため、県農業・就農情報サイトを活用した情報発信や高校生等を対象とした雇用就農の魅力発信、非農家出身者の定着支援に取り組む。	3①③
28	農林水産部	林政課	青い森林業アカデミー運営事業	2				継続	37,149	39,117	林業への就業に必要な基礎的知識や技術の習得を支援し、地域林業の中核を担う人材を育成する1年間の研修を実施した。	林業への就業に必要な基礎的知識や技術の習得を支援し、地域林業の中核を担う人材を育成する1年間の研修を実施する。	3②
29	県土整備部	監理課	建設業の未来を担う人づくり推進事業	2				継続	4,110	4,119	建設業の魅力発信のため、小学生を対象に、建設現場を見学する親子バスツアー、ものづくり体験教室を開催した。また、工業高校生と若手技術者との意見交換会や、建設技能者による先輩講演会を開催した。さらに、高校1・2年生をメインターゲットに建設業のイメージアップ動画をTVCM及び動画投稿サイト等で発信した。	建設業の魅力発信のため、小中学生を対象に親子バスツアーやものづくり体験教室を開催する。また、工業高校生と若手技術者との意見交換会を開催するほか、中学生・商業高校生を対象に、建設業で働く先輩による講演会を開催する。さらに、ターゲットに則したプロモーションを、TVCMやSNSにより展開し、建設業のイメージアップを図る。	3①
30	教育庁	学校教育課	県立学校就職促進関連事業	2				継続	1,217	1,213	高校生の就職促進に向け、経済団体、保護者、行政及び教育関係者による高等学校就職促進連絡会議を開催するとともに、特別支援学校生徒の就労意欲を育み、事業所側の雇用に対する意識を高めるため、産業現場等における実習を希望する生徒の賠償責任保険料及び職場開拓や巡回指導などに係る教員の旅費を助成した。	引き続き、高校生の就職促進に向け、経済団体、保護者、行政及び教育関係者による高等学校就職促進連絡会議を開催するとともに、特別支援学校生徒の就労意欲を育み、事業所側の雇用に対する意識を高めるため、産業現場等における実習を希望する生徒の賠償責任保険料及び職場開拓や巡回指導などに係る教員の旅費を助成する。	3③
31	教育庁	学校教育課	高校生の就職総合支援プロジェクト事業	2				継続	16,686	18,276	就職状況については、新型コロナウイルス感染症の影響がなくなってきてはいるものの未だ先行きが不透明であり、就職内定率は依然として全国平均を下回る状況にあることから、事業を前年度から継続して実施した。また、企画政策部、商工労働部との連携を強化し、高校生の県内就職を支援した。	就職状況については、就職内定率は依然として全国平均を下回る状況にあることから、引き続き職業人としての必要な能力や態度の育成、就職時における付加価値を高めるための取組などの事業を実施し、就職内定率の向上を目指す。また、こども家庭部等との連携を強化し、高校生の県内就職を支援する。	3③

No.	R6部局名	R6課名	事業名	重点目標項目				重点枠事業	新規継続	R5予算額(千円)	R6予算額(千円)	令和5年度の取組状況	令和6年度の主な事業内容	施策の方向性等
32	教育庁	学校教育課	医師を志す高校生支援事業	2					継続	16,841	17,132	医学部医学科を志す高校生の実力養成を図るとともに、教員の教科指導力を向上させることにより本県高校生の医学部医学科合格者数増加に向けた取組を支援した。 また、拠点校を中心とした学習セミナーにおいては、医師への志を確かなものとし、学習に向かう姿勢を期して、ワークショップを実施した。	引き続き、医学部医学科を志す高校生の実力養成を図るとともに、教員の教科指導力を向上させることを通じて本県高校生の医学部医学科合格者の増加を図っていく。 また、拠点校を中心とした学習セミナーにおいては、医師への志を揺るぎないものとし、学習に向かう姿勢の質的向上を図るために、ワークショップを実施する。	3①②
33	教育庁	生涯学習課(総合社会教育センター)	高校生スキルアッププログラム推進事業	2					継続	190	321	高校生の知識や経験の幅を広げ、様々なスキルの向上を図るため、参加希望27校4,432名を対象として学校外における学修への取組を促進した結果、56名に対し奨励証を、50名に対し認定証を交付した。	高等学校との連携・協力体制を強化し、高校生に対し、活動の有用性の周知と幅広い学修活動から自由に選択して取り組めるよう各種学修情報を定期的に提供する。 また、上級学校の総合型入試選抜等に活用できる評価サービスを行い、高校生を支援する。	2①②
34	教育庁	生涯学習課(総合社会教育センター)	大学生とカタル！キャリア形成サポート事業 【重点目標13に再掲】	2	13				継続	995	1,415	高校生等が自らの夢に向かって主体的に行動できるように、コミュニケーション、コーチング等の研修を修了した大学生からの働きかけにより、高校生等のやる気や意欲を引き出し、チャレンジする心を育むためのワークショップを、高校16校(1,877名)、中学校1校(125名)に対し実施した。	高校生等の意欲を引き出し、自分自身の見つめ直しにつながる大学生によるワークショップを、高校10校約1,600名の高校生、中学校6校3企画約400名の中学生を対象に実施するとともに、大学生を対象とした研修会を行い、大学生のスキルアップを図る。	1④
35	教育庁	生涯学習課	こどもの読書活動推進事業	2					継続	3,426	3,574	中・高校生を対象として仲間や友だちなどに薦めたい本の紹介文を募集する「大切なあなたへ薦める青春の一冊」コンクールを開催し(応募総数3,305点)、優秀作品を冊子やホームページ等で公開するとともに、公立図書館や書店に特設コーナーを設置するなど、あらゆる機会を通して広く周知し、中・高校生が本に親しむきっかけづくりに取り組んだ。 広く県民がこどもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体でこどもの読書活動を推進する機運の醸成を図るため、「子どもの読書活動推進大会」を青森市で開催した(参加者116名)。今年度も「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」コンクールの表彰式と最優秀賞及び優秀賞を受賞した生徒による本の紹介を行い、こどもの読書活動推進に係る関係者に本事業の一環である取組を周知した。 こどもの読書活動推進計画の未策定市町村を訪問し、計画策定が進むように情報提供及び意見交換を行った。 啓発小冊子「絵本で豊かな親子の時間」第7版を発行した。また、啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」第6版を8団体に合計365冊提供し、第7版を40団体に合計6275冊提供した。	中・高校生の自主的な読書活動推進に重点を置いた取組として、引き続き、「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」コンクールを開催するとともに、広く県民がこどもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体でこどもの読書活動を推進する機運の醸成を図るため、「こどもの読書活動推進大会」を開催する。 こども読書活動推進計画の未策定市町村を訪問し、計画策定が進むようにする。 啓発小冊子「絵本で豊かな親子の時間」第7版を希望する市町村等へ提供し、乳幼児期からの家庭におけるこどもの読書活動の重要性に対する意識啓発を図るとともに、読み聞かせや保護者向け研修会等で活用する。	1①
36	教育庁	生涯学習課	青少年教育施設主催事業(※人件費を含む)	2					継続	217,224	210,779	少年自然の家において、各種主催事業(延べ参加者数3,398名)及び活動支援事業等(延べ参加者数15,527名)を実施し、自然を体験する場の提供や体験活動の拡充を行った。	野外における体験的な学びを通して、自然に親しむ態度や豊かな心を育むために、受入事業、各種主催事業等の充実を図り、多様な自然体験の機会を提供する。	1③④、2②